

ロール施工

下地の準備

施工を良好に行う為には、適切な準備が欠かせません。床面はフラットで清潔でひび割れがなく、油脂などもなく十分に乾燥している必要があります。凹凸や不陸などがあると、使用しているうちにその型や形状が表面に影響を及ぼします。

ロールの保管と準備

ロールは傷つけないように、ロールに重みをかけず平らな床においてください。品名とロット番号を点検し、間違いのないことを確認してください。違うロット番号を混在させると色差などが生じることがあります。

室内環境としては、床面温度は少なくとも 15℃、室内温度は 18℃～25℃の間で湿度は 75%以下を推奨します。また、施工作业前にロールを広げた状態で少なくとも 24 時間養生して室温に適合させます。

施工

1. ジョイント

ジョイントの数はできるだけ少なくなるようにしてください。通行量が多く歩行の方向が決まっているようなエリアでは、通行の流れはジョイントに直角にするのではなく沿うようにしてください。出入り口近くにはジョイントがこないようにしてください。

2. 接着剤の塗布

床面が清潔で十分乾燥していることを確認し、接着剤を塗布します。接着剤はルビロンエコプラスをお使いください。塗布量は 350g / m²を目安に櫛目コテにて塗布してください。水回りでは耐水性に優れたスミテックセメント S300 をお使いください。

3. ロールの敷き詰め

仮敷きで位置を決めたら接着剤を塗布しロールを敷き詰めます。ロールを接着剤の塗布面に広げたあと、表面を傷つけないローラーで中央から端に向かって、ふくらみや気泡が残らないように取り除きます。ジョイント部分もハンドローラーで十分圧着してください。

- ジョイント部分は重ね切りをしてください。柄物のロールをジョイントする場合は、柄を合わせて重ね切りしてください。
- 接着剤が完全に乾燥して固まるまでの 24 時間は通行を完全に禁止してください。

注意点

- ・ジョイント部分に白いグラスファイバーが見えることがあります。施工前に湿った布で拭い、取り除いてください。
- ・ゴム素材（すべり止めシート、制震材やタイヤなど）は、長期間接触した場合、製品の色に影響する恐れがあります。そのため、ゴム素材と接触する場合には保護板などをご使用ください。
- ・椅子などのキャスターは、ゴム製ではなくポリアミド製の硬いキャスターをお勧めします。
- ・屋内プールサイドや水回りでは、耐水性に優れたスミテックセメント S300 を使用してください。ジョイント部にはジョイント剤にてシーム処理してください。
尚、流水などは床表面をすべり易くし、思いがけない転倒を引き起こすことがありますのでご注意ください。
- ・屋外でのご使用は、土砂などで塩ビ繊維を傷める場合がありますので、お勧めしません。
- ・外部からの土や砂などの持ち込みは床材表面を傷つけて摩耗を早めるなどの原因につながります。出入り口には泥除けマットのご使用をお勧めします。
- ・ハイヒールや家具などの局部荷重を受けると跡が残る場合があります。このようなことが想定される場合は、荷重の分散や当て板などの対策を検討ください。
- ・モルタル床の乾燥が十分ではない（水分率 8%以上が目安）場合、床からのアルカリ水分により塩ビ樹脂に含まれる可塑剤が加水分解し異臭（アルコール臭）が発生する場合があります。